

## 第1号議案

# 平成30年度事業報告

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

## I 事業内容

適正・適法な狩猟を永続させるため、狩猟知識の普及、射撃技術・狩猟道德の向上に基づく安全対策を徹底させることにより狩猟事故の防止を図るとともに、キジ、ヤマドリ等の保護増殖、及び有害鳥獣捕獲・個体数調整捕獲を実施することで地域社会の環境保全に寄与し、貢献するため次の事業を実施した。

### 1 公益実施事業

#### ◎継続1 狩猟事故防止指導事業 (3,178,645円)

- ① 30年10月15日：狩猟事故防止対策協議会を開催し、県内及び全国での狩猟事故等の発生状況等について県及び県警本部担当職員による研修後、今年度猟期における狩猟事故・違反の防止及び狩猟安全パトロール等の実施方法等について協議した。
- ② 30年11月13日：狩猟事故防止に向け、狩猟グループの代表者を対象とした「狩猟事故防止研修会」を開催したが、98名が参加した。  
特に、今回の研修会では、9月に岐阜県内で26年振りに国内での発生が確認された『豚コレラ』について、今後、野生イノシシへの感染が懸念されることから、県畜産課担当から防疫方法を含めた講演をおこなった。
- ③ 狩猟期間中の事故・違反防止のため、初猟日には所轄警察署員及び地区猟友会役員等による検問を県内5カ所で行った。また、狩猟期間中には、狩猟事故防止指導員55名及び大日本猟友会から委嘱されている安全狩猟指導員47名が、入猟者の指導をおこなった。
- ④ 各支部毎に狩猟安全パトロールを行うとともに、パンフレットの作成・配布などで狩猟事故防止・マナー向上を呼びかけた。
- ⑤ 地区猟友会長に対し、狩猟事故防止に対する様々な項目について会員に徹底するよう通知した。
- ⑥ 県の委託を受けて、鳥獣保護区等で制札及びビニール標識等の設置・撤去事業をおこなった。

#### ◎継続2 鳥獣保護増殖事業 (3,810,660円)

- ① キジ及びヤマドリを、県日本キジ・ヤマドリ養殖組合から購入し、ヤマドリは猟期前の10、11月に、キジは猟期後に可猟地に放鳥した。

● 支部別放鳥実績

		渋川	沼田	吾妻	藤岡	富岡	高崎	東部	計
ヤマドリ	120日令	0	15	10	0	0	0	0	25
キジ	成鳥	41	49	33	23	20	46	64	276
計		41	64	43	23	20	46	64	301

- ② 県日本キジ・ヤマドリ養殖組合から県が購入したキジ・ヤマドリ1,046羽について、県の委託を受けて放鳥した。
- ③ キジ・ヤマドリの放鳥効果を高めるため、自然増殖を妨げるキツネ及びテン等を猟期中に捕獲するよう奨励した。
- ④ 県分を含め、放鳥するキジ・ヤマドリには足環を付しているが、生息状況等の調査実績を高めるため、捕獲個体の足環を回収した狩猟者に対して記念品を贈った。

◎継続3 初心者予備講習事業 (1,627,579円)

県の委託を受け、狩猟免許試験受験者の資質向上のため、次の内容で予備講習会を実施した。

● 講習内容：法令、鳥獣の判別、銃器及び猟具の取り扱い

● 開催日時及び受講者数

- ・第1回 30年6月24日（公社総合ビル） 39名受講
- ・第2回 30年8月27日（ ） 30名受講
- ・第3回 31年1月15日（ ） 38名受講

◎継続4 災害対策事業（アマチュア無線開設者による緊急対策協力事業）

この事業についてはすでにその方法が確立させたこともあり、平成27年度以降会議等の開催実績はなく、今後も開催する予定は無い。このため、この事業の扱いについて、県学事法制課と協議を進める。

◎継続5 クレー射撃場運営事業 (24,903,759円)

平成19年度から県より指定管理者として指定を受け、狩猟者の安全狩猟実現のための射撃技術向上と、銃器の適正な管理・取り扱い習得を目的とした実技研修の場として位置付けて運営してきたが、射撃場内にライフル射撃施設を整備するなどの工事が30年11月以降開始されたため、10月末をもって休止となった。

これまで県内では、鳥獣被害特別措置法の20年1月の施行以降、銃所持許可更新時の技能講習が免除されている有害鳥獣捕獲隊・実施隊（対象鳥獣捕獲員）の割合が高くなっている。この状況のなかで射撃場は、各地区猟友会における有害捕獲を担う会員の技術向上を図るため、射撃実技研修会等の会場としての役割を担い利用されてきた。

また、これまでも地域住民から施設への理解が得られるよう、日頃より要望等を聞き、運営務めてきた。

整備完了後は、これまでの経緯を踏まえて、より利用者の立場にたった施設を目指して県との協議を進めているとことである。

● 射撃場利用状況

利用者数	内県外利用者数 (%)	クレー利用枚数	ラビット利用枚数	合計
4,262名	736名 (17.3%)	376,219枚	4,282枚	380,501枚

※ 利用者については、前年度比29.8%の減。

- 射撃教習実施状況
  - ・ 初心者講習 7回 18名参加
  - ・ 技能講習 7回 58名参加

## 2 その他事業

### ◎1 狩猟登録申請等及び証紙売り捌き事業 (5,362,335 円)

- 1 狩猟免許更講習及び更新取りまとめ事業
 

30年度の狩猟免許更新予定地区猟友会会員(1653名)に対して通知するとともに、免許更新申請書の取りまとめと免許更新講習会(8会場)を県の委託を受けて実施した。
- 2 県証紙売り捌き事業
 

県条例による「県証紙売り捌き所」の指定を受け、狩猟免許及び狩猟者登録等に必要な県証紙の売り捌きをおこなった。
- 3 狩猟者登録申請取りまとめ事業
 

会員の県外登録事務及び県外からの登録申請の取りまとめを県の委託を受けておこなった。

  - 県外狩猟者 776名(前年度比95.4%)
  - 県内居住者 2,268名(前年度比98.4%)

### ◎2 指定管理鳥獣捕獲等事業等 (31,012,040 円)

- 事業実施地区
 

下仁田町神津牧場地区、及び片品村尾瀬地区におけるニホンジカ捕獲、太田市金山地区におけるイノシシ捕獲の計3地区について県環境森林部委託による指定管理鳥獣捕獲等事業として、黒保根地区及び前橋市赤芝地区の捕獲事業については県鳥獣被害対策支援センターからの委託を受け事業を実施した。

### ◎3 その他事業 (3,715,122 円)

- 1 会報発行事業
 

本会事業への理解を深めるとともに、狩猟及び環境保全に関する知識を高め狩猟道徳の向上を図るため、会報を発行し、会員、県・市町村、県警本部・各警察署等に配布をおこなった。

  - 猟友ぐんま第61号(平成30年10月:2,200部発行)
  - 猟友だより第39号(平成31年3月:2,000部発行)
- 2 射撃部事業
 

会員相互の親睦を図ると共に、銃器の取り扱いの習熟により狩猟事故・違反を防止し、地域社会への貢献につなげるため、「安全狩猟のための射撃大会」を次のとおり開催した。

  - ア 安全狩猟フィールド射撃大会
 

30年5月20日、群馬県クレイ射撃場で開催した。

    - ・ 優勝:新井和夫氏 準優勝:津村龍太郎氏 第3位:石田富士夫氏

- (23名参加)
- イ 安全狩猟地区対抗射撃大会  
30年6月10日、群馬県クレ射撃場で開催した。
- トラップ部門  
優勝：吾妻猟友会（71名参加）
  - スキート部門  
優勝：上野村猟友会（45名参加）
- ウ 安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会  
30年7月29日、群馬ジャイアント総合射撃場で開催した。
- ライフル部門  
優勝：萩原雄二氏 準優勝：大矢 力氏 第3位：相澤 齊氏  
(24名参加)
  - スラッグ部門  
優勝：鈴木 猛氏 準優勝：女屋光明氏 第3位：渡辺和典氏  
(15名参加)
- エ 安全狩猟クレ射撃選手権大会  
29年10月14日、群馬県クレ射撃場で開催した。
- トラップ部門  
優勝：周藤行雄氏 準優勝：井野口尚倫氏 第3位：毛塚久雄氏  
(28名参加)
  - スキート部門  
優勝：坂本 真氏 準優勝：今泉道男氏 第3位：石田富士夫氏  
(13名参加)
- なお、優勝者は、選手権者として群馬県クレ射撃場にその氏名を掲示した。
- オ 一都八県ライフル・スラッグ射撃大会  
30年9月1日、神奈川県猟友会を当番として、西富士射撃場で開催された。  
本会からはライフルの部（滝川 勝氏、田村照男氏、本間 悟氏）、スラッグの部（鈴木 猛氏、渡辺和典氏、栗原優海氏）が出場し健闘した。
- カ 第13回安全狩猟関東山静ブロック大会  
30年9月15日、東京都猟友会を当番として、成田射撃場で開催された。  
本会からは、群馬A（小川俊夫氏、加藤洋文氏、仲澤信晴氏）、群馬B（上原民男氏、田村光治氏、霜田和志氏）が出場し健闘した。
- 3 猟犬事業  
今年度も、諸般の事情から猟野競技会を休止した。
- 4 教育宣伝事業  
大日本猟友会報を全会員に配布した。
- 5 表彰関係事業
- ア 30年5月23日開催した通常総会において、永年地区猟友会において会の運営及び会員の指導に尽力している次の各氏の功績を称え表彰した。
- 会長表彰  
前橋北部猟友会：今井 進氏      利根沼田猟友会：真庭菊夫氏  
我妻猟友会：土屋 清氏      上野村猟友会：黒澤典久氏

富岡猟友会：新藤啓典氏 佐波伊勢崎猟友会：石田富士夫氏  
 イ 通常総会において、永年地区猟友会において会の運営に尽力し、役員を退任された次の各氏に感謝状を贈呈した。

- 前橋猟友会：千葉三榮氏 渋川猟友会：草野芳之氏
- 前橋東部猟友会：阿久澤秀一氏 館林邑楽猟友会：飯塚喜一郎氏
- 東毛猟友会：川田光義氏 高崎猟友会：秋池 修氏

○6 狩猟災害共済保険及びハンター保険事業

会員の狩猟における安全を担保するため、災害共済保険及びハンター保険に取り組んだ。

● 加入者数

免許の種類	狩猟災害共済保険			ハンター保険		
	加入数	会費	合計金額	加入数	掛金	合計金額
網猟・わな猟	353名	2,300円	811,900円	329名	2,300円	756,700円
第1種銃猟	1,392名	4,800円	6,681,600円	813名	5,000円	4,065,000円
第2種銃猟	45名	3,300円	148,500円			
網わな1種・2種	—	—	—	565名	5,300円	2,994,500円
計	1,790名	—	7,642,000円	1,707名	—	7,816,200円

● 30年度保険給付状況

狩猟災害共済保険		ハンター保険	
給付件数	給付金額	給付件数	給付金額
7件	552,000円	12件	1,122,205円

○7 狩猟免状等所持証明発行事業

下記のとおり、狩猟登録申請書に添付する必要書類として狩猟免許及び被保険者証の所持証明を下記の通り発行した。これに対する手数料（1件200円）は該当する支部に交付した。

支部名	狩猟免許所持証明手数料		共済者証所持証明手数料		合計金額
	件数	金額	件数	金額	
渋川	2	400円	2	400円	800円
沼田	4	800円	173	34,600円	35,400円
吾妻	26	5,200円	150	30,000円	35,200円
藤岡	5	1,000円	5	1,000円	2,000円
富岡	—	—	—	—	—
高崎	3	600円	3	600円	1,200円
東部	52	10,400円	46	9,200円	19,600円
県猟	44	8,800円	44	8,800円	17,600円
計	136	27,200円	423	84,600円	111,800円

○8 わな猟初心者講習会事業

わな猟免許取得者に対する安全かつ効果的なわなによる捕獲技術講習会を、県の委託を受けて次の内容で開催した。

- 講習内容：野生動物の生態、箱わな及びくくりわなの掛け方の実習

- 開催日時及び受講者数
  - ・第1回 30年11月 3日（小平山村活性化センター） 26名受講
  - ・第2回 31年 3月10日（観音山ファミリーパーク） 30名受講
  - （合計 56名受講）

- 9 わな実践者講習会  
今年度から県の委託を受けて、わな免許所持者がより効率的な捕獲ができるよう講習会を開催した。

- 講習内容：野生動物の生態、くくりわなの効率的な掛け方の実習
- 開催日：30年11月11日（金山地域交流センター） 13名受講

- 10 野生鳥獣肉の放射能検査における検体提供事業  
県からの要請を受け、出荷自粛措置の解除に向けて検査に協力をした。

### 3 会議開催状況

#### ◎1 総会

平成30年度通常総会を次のとおり開催した。

##### ① 日時・会場

- ・30年5月23日（水）午後2時～
- ・群馬ロイヤルホテル 『みやま』

##### ② 議題

###### ● 報告事項

- ・第1号 平成30年度事業計画について
- ・第2号 平成30年度収支予算について
- ・第3号 平成29年度公益目的支出計画実施報告について

###### ● 審議事項

- ・第1号議案 平成29年度事業報告承認について
- ・第2号議案 平成29年度決算承認について
- ・第3号議案 平成30年度会費の額並びに納入期日（案）決定について
- ・第4号議案 借入金最高限度額（案）承認について
- ・第5号議案 火薬類無許可譲受票交付手数料（案）徴収について
- ・第6号議案 放鳥協力費（案）徴収について
- ・第7号議案 役員補欠選任について

#### ◎2 理事会

##### ① 第1回

- 開催日 30年5月9日
- 会場 公社総合ビル2階「特別会議室」
- 議題

ア 平成30年度通常総会の日程並びに提出議案について

イ 30年度通常総会における各種表彰について

ウ ハンター保険の改訂（本人の傷害の充実）について

- エ 顧問の補欠選任について
- オ クレー射撃場整備の進捗状況について
- カ その他

② 第2回

- 開催日 30年7月6日
- 会場 公社総合ビル2階「特別会議室」
- 議題
  - ア 射撃場の運営について
  - イ 大日本猟友会の動きについて
  - ウ 地区猟友会との意見交換について
  - ウ その他

③ 第3回

- 開催日 30年8月22日
- 会場 公社総合ビル2階「第5会議室」
- 議題
  - ア 座談会について
  - イ ハンター保険制度の見直し等について
  - ウ 大日本猟友会の動きについて
  - エ その他

④ 第4回

- 開催日 30年1月13日
- 会場 公社総合ビル5階「第4会議室」
- 議題
  - ア 県議会意見交換会の結果について
  - イ 理事の辞任について
  - ウ 支部・地区猟友会の動きについて
  - エ 初猟日の取り組みについて
  - オ 射場の整備スケジュール等について
  - カ その他

⑤ 第5回

- 開催日 31年2月20日
- 会場 群馬県クレー射撃場2階「研修室」
- 議題
  - ア 当面する課題について
  - イ その他

⑥ 第6回

- 開催日 31年3月29日
- 会場 公社総合ビル2階「特別会議室」
- 議題
  - ア 2019年度事業計画（案）について
  - イ 2019年度予算（案）について
  - ウ その他

◎3 常任理事会

① 第1回

- 開催日 30年8月17日
- 会場 公社総合ビル1階「第1会議室」
- 議題
  - ア 座談会について
  - イ 射撃場整備計画の現状について
  - ウ 地区猟友会に加入しない狩猟免許所持者の狩猟登録について
  - ウ ハンター保険制度の見直し等について
  - エ 指定管理鳥獣捕獲等事業従事者の保険加入について
  - オ その他

② 第2回

- 開催日 31年3月1日
- 会場 群馬ロイヤルホテル「シティビュー」
- 議題
  - ア 顧問団県議会選挙対策について
  - イ 顧問団との意見交換会
  - ウ その他

◎4 正副会長会議

① 第1回

- 開催日 30年5月23日
- 会場 ロイヤルホテル8F「サンセットテラス」
- 議題
  - ア 自民党県連政経セミナーの出席者について
  - イ 30年度指定管理鳥獣捕獲等事業について
  - ウ 顧問団の新潟県調査の結果について
  - エ その他

② 第2回

- 開催日 30年6月7日
- 会場 公社総合ビル2F「特別会議室」
- 議題
  - ア 31年1月以降の事務局体制について
  - イ 指定管理鳥獣捕獲等事業プロポーザルの結果について
  - ウ その他

③ 第3回

- 開催日 30年9月25日
- 会場 公社総合ビル1階「第1会議室」
- 議題
  - ア 大日本猟友会の動きについて
  - イ 自民党県連政調懇談会の要望事項について
  - ウ 地区猟友会会員が他の認定事業者等の捕獲従事者となる場合の取扱について
  - エ その他

④ 第4回

- 開催日 30年12月17日
- 会場 公社総合ビル5F「第4会議室」
- 議題

ア 31年度射撃大会について

イ 射撃場整備について

ウ 顧問団との接触状況

エ その他

⑤ 第5回

● 開催日 31年1月31日

● 会場 公社総合ビル7F「県猟事務局」

● 議題

ア 射撃場整備の現状と今後のスケジュールについて

イ 新年度の捕獲事業等について

ウ 選挙（県議会）対策について

エ その他

⑥ 第6回

● 開催日 31年3月26日

● 会場 公社総合ビル1F「第1会議室」

● 議題

ア 2019年度事業計画について

イ 2019年度予算案について

ウ 総会開催期日、会場等について

エ その他

◎6 その他の会議開催状況

○ 各委員会

各事業を円滑に推進するため、委員会を開催した。

● 開催状況

・30年6月 1日：射撃部委員会

・30年6月14日：狩猟事故防止対策委員会

・30年8月22日：総務委員会

1 庶務事項

① 30年4月24日：公社総合ビルで群馬県日本キジ・ヤマドリ養殖組合総会が開催され会長が出席した。

② 30年4月26日～27日：横浜市で関東山静ブロック猟政運営協議会が開催され、会長、事務局長が出席した。

③ 30年5月7日：県公社総合ビル1階ホールにおいて、県射撃指導員連絡協議会定期総会が開催され、射撃指導員である役員等が出席した。

④ 30年5月7日～8日：顧問団による鳥獣被害対策（県条例制定）を目的とした新潟県現地調査がおこなわれ、事務局長が出席した。

⑤ 30年6月12日：東京都千代田区「アルガディア市ヶ谷」において、第80回大日本猟友会通常総会が開催され、会長、事務局次長が出席した。

⑥ 30年7月11日～12日：宇都宮市で大日本猟友会東日本会長会議が開催され霜田副会長が出席した。

⑦ 30年9月5日：群馬県クレ射撃場で、県総務課による射撃場指定管理評価委員会が開催され、事務局長、射撃場長が対応した。

- ⑧ 30年10月3日：前橋市「県議会会議室」において、『各種団体からの要望』を受ける自民党県連政調懇談会が開催され、会長及び副会長が出席した。
- ⑨ 30年11月2日：前橋市「県議会会議室」において、県議会環境農林常任委員会による『捕獲の担い手確保のための県条例』のための関係団体との意見交換会が開催され、会長、事務局長が出席した。
- ⑩ 30年11月22日：県クレ射撃場整備に資するため長野県営総合射撃場（長野県辰野町）を自然環境課担当者と事務局長、次長が視察調査した。
- ⑪ 30年12月27日：群馬森林管理署地域林政調整官・総括森林整備官が来所し、猟期における入林に関する協定等について事務局長が意見交換を行った。
- ⑫ 31年1月8日：県庁で開催された県議会新年交流会及び、グリーンドームで開催された上毛新聞社新年交歓会に会長、事務局長が出席した。
- ⑬ 31年1月18日：高崎ホテルメトロポリタンで大日本猟友会長と副会長及び常任理事が意見交換会を行った。
- ⑭ 31年1月31日：県猟友会事務局において、県警察本部生活安全部長から感謝状が授与された。副会長及び事故防止対策委員長が出席した。
- ⑮ 31年2月26日：前橋合同庁舎で「イノシシ等市街地出没対応研修会」が開催され事務局長、次長が出席した。
- ⑯ 31年3月10・11日：下仁田において認定事業捕獲従事者講習を開催し、事務局が講師を務めた。
- ⑰ 31年3月18・26日：片品において認定事業捕獲従事者講習を開催し、事務局が講師を務めた。
- ⑱ 31年3月15日～：顧問団の県議会選挙応援として県猟友会役員及び地区猟友会長、事務局等が選挙事務所を訪問した。